2024年３月期 第３四半期
決算説明 資料

株式会社　淺　沼　組

東証プライム市場

（証券コード：1852）

目次

1.　業績（2024年３月期 第３四半期）		
（1）実績・進捗（連結）	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Ｐ．３
（2）受注の内訳	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Ｐ．４
2.　中期３ヵ年計画の進捗状況		
（1）維持・修繕事業（リニューアル）	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Ｐ．５
（2）生産労働人口の減少への対応	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Ｐ．８
（3）非財務経営活動(ＥＳＧ・ＳＤＧｓ等)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Ｐ．10
3.　Topics	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Ｐ．11

1. 業績（2024年３月期 第３四半期）

（1）実績・進捗（連結）

Asanuma

❶ 2024/3期3Qは好調な受注環境を背景に受注高は好調。工事が順調に進捗し売上高も前期比プラス、通期に対する進捗率も相応

❷ 売上総利益以下については、資材高による利益率低下により前期比減益なるも、シンガポール子会社の好調な業績が下支え。また固定資産の譲渡による特別利益[*1]を4Qに計上予定であり、通期計画は達成見込み、配当も計画通りを予定（❸）

主要項目（連結）（単位：百万円）	2022/3期			2023/3期			2024/3期			
	３Q実績	通期実績	３Q進捗(%)	３Q実績	通期実績	３Q進捗(%)	３Q実績	前期比	通期計画	３Q進捗(%)
受注高	72,098	136,568	52.8	105,807	144,743	73.1	**127,132**	**21,325**	**144,700**	**87.9**
売上高	96,226	135,478	71.0	104,182	144,436	72.1	**111,612**	**7,429**	**141,800**	**78.7**
売上総利益	9,237	13,444	68.7	10,530	15,139	69.6	**9,823**	**▲706**	**13,950**	**70.4**
売上総利益率	9.6%	9.9%	—	10.1%	10.5%	—	**8.8%**	**▲1.3P**	**9.8%**	—
販管費	6,424	8,609	74.6	7,013	9,447	74.2	**7,205**	**192**	**9,850**	**73.2**
営業利益	2,812	4,835	58.2	3,517	5,691	61.8	**2,617**	**▲899**	**4,100**	**63.8**
四半期利益/当期純利益	1,827	3,748	48.7	2,867	4,200	68.3	**1,591**	**▲1,275**	**4,540**	**35.1**
配当	—	363円[*2]	—	—	191円	—	—	—	**197.5円**	—
配当性向	—	78.1%	—	—	73.3%	—	—	—	**70.2%**	—

*1　2023年11月8日付「固定資産の譲渡および特別利益（固定資産売却益）の計上に関するお知らせ」の内容は通期計画に織り込み済

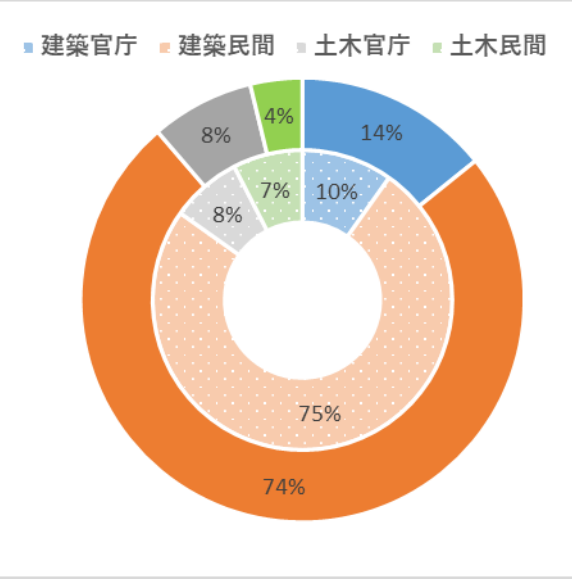
*2　当社は、2022年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2022年3月期については、分割前の実際の配当金を記載しております。

1. 業績（2024年３月期 第３四半期）

（2） 受注の内訳

① 国内（当社単体）の受注は堅調に積み上がっており、特に工場・倉庫等の建築の民間が主導
② シンガポール子会社にて大型工事受注もあり、海外子会社も前年同期比増加

受注実績（単位：百万円）		2023/3期	2024/3期	
		３Q実績	３Q実績	前年同期比
国内（当社単体）	建　築	83,583	**101,034**	**17,450**
	官庁	9,675	**16,206**	**6,530**
	民間	73,907	**84,828**	**10,920**
	土　木	14,942	**12,896**	**▲2,045**
	官庁	7,521	**8,575**	**1,053**
	民間	7,421	**4,321**	**▲3,099**
	建築・土木 計	**98,526**	**113,931**	**15,405**
	官庁	17,197	**24,781**	**7,583**
	民間	81,328	**89,150**	**7,821**
海外子会社		7,293	**13,201**	**5,907**
連　結		105,807	**127,132**	**21,325**



円グラフ：個別受注状況
外側：2024/3期３Q
内側：2023/3期３Q

2. 中期３ヵ年計画の進捗状況

（1）維持・修繕事業（リニューアル）① 2024年3月期 第３四半期実績

- 建築リニューアル営業利益額(国内外計)は前期比増・通期計画に対する進捗も良好(❶)であり、目標の「中期３ヵ年計画最終年度（当期）における建築リニューアルの営業利益を連結営業利益の35%以上」は達成見込み。 ASEANリニューアル関連子会社の好調な業績が主因(❷)
- 国内においても大口受注あり3Q時点で受注は計画を大幅過達(❸)。今後PLに寄与する見込み

建築リニューアル（国内外合計）営業利益（３Q）実績

（単位：百万円）

	2022/3期	2023/3期	2024/3期			
	３Q実績	３Q実績	３Q実績	前期比	通期計画	進捗率
営業利益	907	1,068	**1,858**	**790**	**1,443**	**128.8%**
営業利益シェア	32.3%	30.4%	**71.0%**	—	**35.2%**	—
内、国内　建築リニューアル						
受注高	12,382	14,887	**29,327**	14,440	20,000	146.6%
完成工事高	12,142	11,455	**13,244**	1788	18,300	72.4%
営業利益	928	285	**620**	334	1,120	55.4%
営業利益シェア	33.0%	8.1%	**23.7%**	—	27.3%	—
内、ASEANリニューアル*2						
受注高	1,690	7,293	**13,201**	5,907	9,700	136.1%
完成工事高	1,282	7,496	**7,801**	304	10,000	78.0%
営業利益*1	▲20	782	**1,238**	455	323	383.3%
営業利益シェア	▲0.7%	22.3%	**47.3%**	—	7.9%	—

*1　ASEAN子会社ののれん償却費等を含む

*2　2023/3期のAEANリニューアル業績は 2022年1月にEVERGREEN ENGINEERING＆CONSTRUCTION PTE. LTD.を子会社化したことにより増加

2. 中期３ヵ年計画の進捗状況

（1）維持・修繕事業（リニューアル）②『ReQuality』ブランドの推進

- **独自技術を用いたリニューアルによる付加価値をアピールした営業を推進中**
- **提案営業強化の一環で「GOOD CYCLE BUILDING TALK vol.3」を2023年12月に開催**

『GOOD CYCLE BUILDING TALK』とは・・・
環境・社会課題は一社の取り組みだけでは解決は難しく、他社・地域社会の共創で取り組まなければならない。
淺沼組は「建設業から、循環型経済社会の実現を目指す」ことを目的に、都市や社会の仕組みを考えるため、
情報発信・コミュニティ形成を図るイベント。

『**ReQuality**』が貢献できること
1、安全・安心技術で建物の長寿命化
2、省エネ・空間ヘルスケア技術で生産性を高める
3、脱炭素・循環型リニューアル技術で価値向上

**「環境にも人にも良い循環を生む、
オフィス空間のつくり方」**
をテーマに開催

イベントの様子を
『GOOD CYCLE PROJECT』のサイトにて
公開しています。

https://www.goodcycle.pro/talk/

GOOD CYCLE BUILDING TALK vol.3

2. 中期３ヵ年計画の進捗状況

（1）維持・修繕事業（リニューアル）　③ASEAN地域での事業強化

- ２社のシンガポール子会社の業績が好調であり、通期計画における進捗が堅調推移
- タイでは炭素繊維シートによる橋等の補強事業を引き続き推進（JICA支援事業に認定）

シンガポール

買収子会社名	SINGAPORE PAINTS & CONTRACTOR PTE. LTD.					EVERGREEN ENGINEERING & CONSTRUCTION PTE. LTD.				
買収時期	2018年10月					2022年1月				
事業内容	リニューアル工事、建物塗装					建物メンテナンス、電気・設備工事、リニューアル				
業績（単位:百万円）	2023/3期	2024/3期				2023/3期	2024/3期			
	３Q実績	３Q実績	前期比	通期計画	進捗率(%)	３Q実績	３Q実績	前期比	通期計画	進捗率(%)
受注高	3,410	10,331	6,920	5,600	184.5	3,883	2,870	▲1,013	4,100	70.0
売上高	2,398	4,626	2,228	4,700	98.4	6,234	4,641	▲1,592	5,300	87.6
営業利益	30	326	296	110	296.4	1,028	1,200	171	560	214.3
のれん等	26	28	—	—	—	249	259	—	—	—

タイ

- 淺沼組は、東レ株式会社、東レインターナショナル株式会社と共同で行うタイ王国におけるインフラ補強事業がJICA SDG'sビジネス支援事業として認定。試験施工として、橋梁の断面補修及び炭素繊維シート補強工事を2件実施
- 上記事業の推進を目的に設立したタイ子会社2社にて、炭素繊維補強工事案件の受注を積み上げ、施工を実施

第２回試験施工を実施

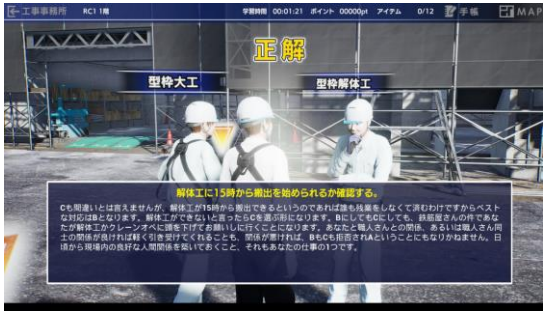
2. 中期３ヵ年計画の進捗状況

（2）生産労働人口の減少への対応　DX推進

- **バーチャル現場体験型の施工管理教育システム「現場トレーナー」を他社と共同開発。若手社員の教育をDXにて拡充**
- **資材を自動搬送する建設ロボットの活用に向け、当社作業所にて試運転・検証を実施**

教育システム「現場トレーナー」を他社と共同開発

- バーチャルな現場内で現場社員アバターを操作し、問題点や注意すべき点等を発見、クイズ形式で学習
- 各OSに対応した製品をリリースし、若手社員の教育をDXにて拡充



建設ロボットの活用に向けた検討

- ロボット・IoT等による作業所の高効率化・省人化を目指す団体「建設RXコンソーシアム」の活動の一環で清水建設株式会社様開発の資材の自動搬送ロボット「ロボキャリア」の試行検証を当社作業所にて実施

①荷取り

②運搬

③荷降ろし

④搬送完了

2. 中期３ヵ年計画の進捗状況

（2）生産労働人口の減少への対応　協力会社協働推進

■ **作業所にて協力会社と協働で実施した生産性向上策を、社内水平展開を図ることを目的に募集し、優れた策には表彰制度を設け、社員及び協力会社作業員の士気向上にも寄与**

本取り組みは、「淺沼組が将来にわたり持続的成長をするためには、共に作業所で働く協力会社様からの生の声を聞き、知恵を出し合うことが不可欠」という淺沼健一前社長の考えから、2017年度より始めた協力会社で構成される弥生会と当社による定期的な意見交換会から生まれた。

第５回　協力会社協働による作業所生産性向上策　表彰式典・発表会

2. 中期３ヵ年計画の進捗状況

（3）非財務経営活動(ESG・SDGs等)　社会貢献活動

- 社会貢献活動の一環として、障がい者スポーツに援助
- 2018年から日本身体障害者野球連盟へ協賛。11月に全国大会を開催
- 2018年から協賛を開始した日本ブラインドテニス連盟へも継続的に協賛を実施

当社の社会貢献活動方針

私たちは、社会の一員として社会のあるべきかたちの実現のため、
社員一人一人が社会的責任を自覚し、積極的に社会貢献活動を推進していきます。

第25回　2023年度全日本身体障害者野球選手権大会

兵庫県但馬ドームにて、地方予選を勝ち抜いた地区代表７チームに加え、全国選抜の１チーム、計８チームにより熱戦が繰り広げられた。優勝は中国・四国代表の「岡山桃太郎」で、見事に大会４連覇を果たした。

第27回　西日本ブラインドテニス大会

当社が協賛している「日本ブラインドテニス連盟」の加盟団体である「近畿ブラインドテニス協会」が主催する大会に、ボランティア（全盲、弱視の方へのサポート）として参加。

4. Topics

独自の取り組みやアイデアを全社水平展開

浅沼組が第５回「協力会社協働による作業所生産性向上策表彰式・発表会」

浅沼組（浅沼誠代表取締役社長）は十月二十七日、第五回となる「協力会社協働による作業所生産性向上策表彰式・発表会」を開催した。

この取り組みは、浅沼健一前社長の「浅沼組が将来にわたり持続的成長をするためには、共に作業所で働く協力会社からの生の声を聞き、知恵を出し合うことが不可欠」という考えから、二〇一七年度から始めた協力会社で構成される弥生会と同社による定期的な意見交換会から生まれた取り組みのひとつで、また同社の中期3カ年計画においても「協力会社との協働による生産性向上」を「戦」を完遂させるための施策として掲げている。

開会の挨拶で、浅沼社長が「常々わたし自身も、作業所の生産性を向上させるためには、協力会社との協働による作業所独自に発案した取り組みやアイデアを収集するとともに、さらにそれらを会社全体に水平展開することが、非常に有効だと考えている。本年度は二〇二一年度からスタートした中期3カ年計画の最終年度で、基本方針である【浅沼組らしさ（独自性）を深耕させるための大きな柱のひとつだ】と開会の挨拶を述べる浅沼社長

「生産性向上策や創意工夫策こそが、浅沼組らしさを深耕させるための大きな柱のひとつだ」と開会の挨拶を述べる浅沼社長

浅沼社長を囲み記念撮影に納まる受賞者

生産性向上策4演題が発表され、改善の意識と創意工夫の重要性などを共有した

表彰式・発表会では、広く募集した同社の各作業所における生産性向上策の中から、社員投票及び審査によって選考された社長賞一編と優秀賞三編が表彰され、その後、受賞した四演題の発表があった。発表会では、費用対効果を踏まえた施工の効率化・品質確保などを出し合うことで、今後さらに多くの生産性向上策や創意工夫策が集まることを祈念している」と述べた。

受賞四演題・受賞者は次のとおり。

【社長賞】▽バルコニー庇金物を型枠兼用としコンクリート打ち込みを実施＝京都市地域一体化施設整備工事作業所（協力会社・第五建設㈱、㈱池内工業）

【優秀賞】▽上留支保工形状変更（火打ブロック使用他）による作業効率アップ＝大阪市楠葉取水場耐震作業所（協力会社・豊開発㈱）▽大型車路の外部天井をケイカル板から折板吊天井へ変更＝（仮称）DPL横浜港北1新築工事作業所（協力会社・㈱アステル）▽現場PCによる柱根巻コンクリート設置＝（仮称）LF奈良ANNEX新築計画作業所（協力会社・第五建設㈱）

2023年11月14日　大阪建設工業新聞
協力会社協働による作業所生産性向上策表彰式・発表会を開催

誇(ほこ)れる歴史がある 創(つく)りたい未来がある

Asanuma

株式会社 淺沼組

お問合せ先
株式会社 淺沼組
コーポレート・コミュニケーション部
MAIL ：asanuma_ir@asanuma.co.jp
TEL ：06-6585-5500
FAX ：06-6585-5556

淺沼組CSRレポート2023
https://www.asanuma.co.jp/csr/report.html